

箱根駅伝で大活躍した“山の神”が語る「スポーツの素晴らしさ」



かしわばら
柏原 竜二

*元陸上選手

■プロフィール

1989年7月13日生まれ、福島県いわき市出身

福島県立いわき総合高等学校、東洋大学を卒業し、富士通株式会社へ入社。

東洋大学時代に箱根駅伝で三度の総合優勝に貢献し、4年連続5区区間賞を獲得すると同時に、4年次には主将としてチームを優勝に導いた。

卒業後は富士通陸上競技部にて活動し、2017年3月31日をもって現役引退。

現在は同社 企業スポーツ推進室に所属し、スポーツ活動全般への支援、地域・社会貢献活動などを担当し、幅広く活動している。

■戦歴

- 2008年 アジアジュニア選手権（ジャカルタ）5000m2位
- 2008年 世界ジュニア選手権（ポーランド）10000m7位
- 2009年 ユニバーシアード（セルビア）10000m8位
- 2009年 箱根駅伝総合優勝 5区区間賞
- 2010年 箱根駅伝総合優勝 5区区間賞
- 2011年 箱根駅伝 5区区間賞
- 2012年 箱根駅伝総合優勝、5区区間賞
- 2013年 全日本実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）6区 区間4位
- 2015年 全日本実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）5区 区間7位
- 2016年 全日本実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）5区 区間9位

講演テーマ

『スポーツの素晴らしさ』

現役選手時代、昇り竜のような箱根駅伝での走りをはじめ、多くの人の心に忘れられない感動を残した柏原竜二さんは、2017年に競技を引退して以来、さまざまな場面で陸上競技の魅力を伝え、スポーツの支援活動を行なっています。

講演では箱根駅伝で「山の神」と称された柏原竜二さんが、ご自身の陸上競技人生から学んだチームワークの大切さや、困難を乗り越えるための力、モチベーションを保つ方法など、ここでしか聴けない「スポーツの魅力、素晴らしさ」をお話します。